



フィレンツェ大学交換留学

群馬大学交換留学プログラム

実施日：平成29年9月2日～平成30年8月30日
実施場所：フィレンツェ大学ほか（イタリア・フィレンツェ）



私は以前参加したオーストラリア短期留学プログラムで、英語以外の言語も学びたいと思い、イタリア語習得を決めた。今回の留学では、下記の目的を基に、「英語＋イタリア語＋α」を全体目標として掲げ、1年間の交換留学を行った。

<目的>

- ①イタリア語がペラペラになる
- ②ヨーロッパを10カ国以上周遊する
- ③日本の良さを広めるためのイベントを行う

奨学金：毎月8万円（JASSO奨学金）＋年間15万円（社会情報学部GFL奨学金）

<生活面>

住居：最初の2ヶ月はホームステイ、残りの10ヶ月はアパートシェアをしていた。ステイ先は人の入れ替わりが激しく、5カ国以上の国の人と交流できた。

治安：フィレンツェはイタリアの中でも比較的治安が良く、スリの心配以外は安心して暮らせた。観光都市のため中心地は清潔に保たれていた。

<活動内容>

○語学学校・大学 →目的①達成！

最初の1ヶ月は住居の手配や滞在許可証などの事務手続きの関係でScuola Leonardo da Vinciという私立の語学学校に通った。比較的日本人が少なく、様々な国から学生が集まるので人気の学校だ。その後、半年間はフィレンツェ大学付属の語学学校に通い、語学力向上に集中した。語学学校では、ワインの蔵見学や周辺の街を訪れるツアーに格安または無料で参加できる課外活動も充実していた。半年後には一通りの文法が終わり、ある程度会話ができるようになったので、残りの半年は大学の授業に専念した。大学では英語や日本語の授業を中心に受け、語学力を向上させるとともに友人の輪を広げていった。交換留学生はどの学部の授業も受けられるので、興味のあった経済学部の授業も聴講した。

9月：私立語学学校（Scuola Leonardo da Vinci）
9～2月：フィレンツェ大学付属語学学校（中級クラス、中上級クラス）
9～8月：フィレンツェ大学

○フィレンツェ大学取得単位

- ・Lingua giapponese1（日本語）
- ・Linguistica generale（一般言語学）
- ・Didattica delle lingue moderne（現代言語教育学）

計30単位獲得



図1 語学学校の友人（スウェーデン・アメリカ出身）と



図2 大学でのプレゼンテーション



図3 日本フェスでのボランティア



図4 若者文化紹介イベント

<旅行> →目的②達成！

大学入学前からヨーロッパに漠然とした憧れがあり、留学が決定した時に必ずヨーロッパを周遊しようと決めていた。留学中に訪れた国は、ドイツ、フランス、オーストリア、ハンガリー、チェコ、スイス、オランダ、アイルランド、ギリシャ、ヴァチカン市国、サンマリノ共和国、イタリアも含め合計で12カ国を旅することができた。留学中に仲良くなった友人と旅行に出かけたり、時には一人旅にも挑戦した。留学生だからこその割引価格で観光できたことに加え、ベストシーズンに各国を訪れることができたのは、長期留学の特権である。どの国でも新たな発見と出会いがあり、学生のうちに貴重な経験ができたことは大変幸せに思う。

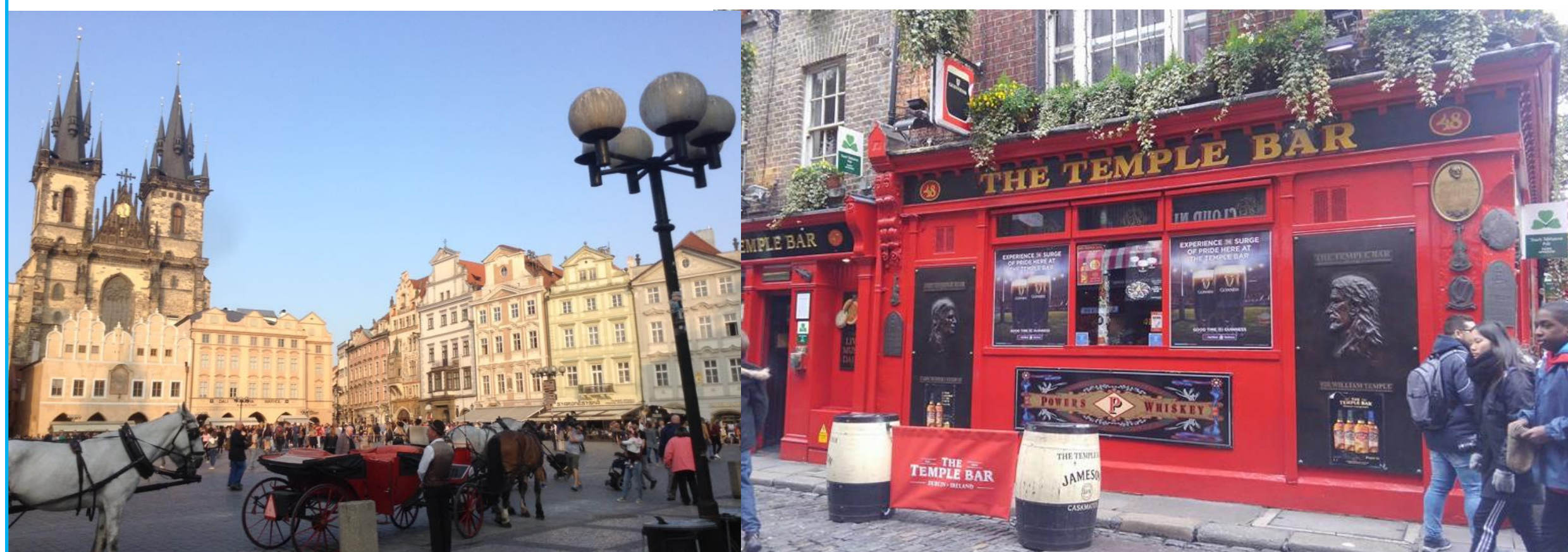


図5 チェコのプラハ



図6 アイルランドの有名なパブ

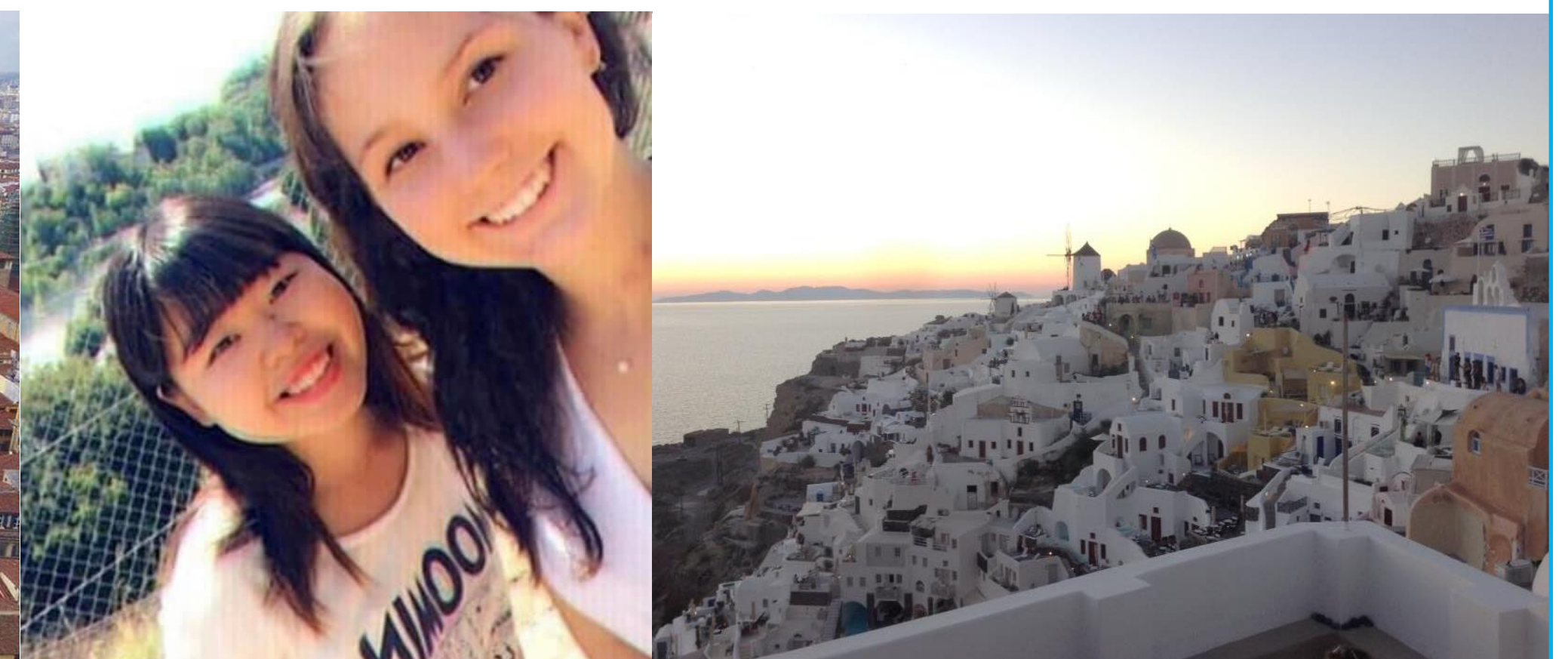


図7 フィレンツェ街並み



図8 ステイ先で仲良くなった友人とスイスで再会



図9 サントリーニ島の夕日

<まとめ>

この1年間、語学学習に集中して取り組めたことや大好きなイベントに外国でも関われたことは大変嬉しく思う。留学当初は挨拶レベルであったイタリア語は、半年で現地の大学入学レベルに達し、留学終了時には大学で30単位を獲得することができた。また、学内外での活動を通して、色々な人と話す機会を作ることができ、語学力への自信に繋がった。大学や語学学校、ホームステイなどで出会った様々な国の人との交流はかけがえのない宝物である。なにより、イタリアという素敵な国で1年間勉強できたことを支援してくださった皆様に感謝している。

今後は、イタリア語検定1級を目指して勉強を続けていく。また、2020年のオリンピックで多くの外国人に日本のおもてなしの心を届け、「日本に来てよかった」と言ってもらえるような活動に尽力していきたい。

群馬大学からフィレンツェ大学に留学する後輩が少しでも増えるように、魅力を伝えていきたい。

語学＋αなら長期留学！